

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合		
信託期間	2013年10月28日～2028年 5 月 8 日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券	
	ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド (債券マザーファンド)	先進国通貨建ての債券	
	ワールド好配当株式 マザーファンド (株式マザーファンド)	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 海外株式の指数を対象指数とした E T F （上場投資信託証券） ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券	
	先進国 R E I T マザーファンド (リート・マザーファンド)	イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ. 先進国のリート指数を対象指数とした E T F ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券	
株式組入制限	債券マザーファンド	純資産総額の10%以下	
	株式マザーファンド	無制限	
	リート・マザーファンド		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

ダイワ外国3資産
アロケーション・ファンド
（部分為替ヘッジあり）

運用報告書（全体版）
第13期
（決算日 2026年5月8日）
（作成対象期間 2025年5月9日～2026年5月8日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に分散投資し、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

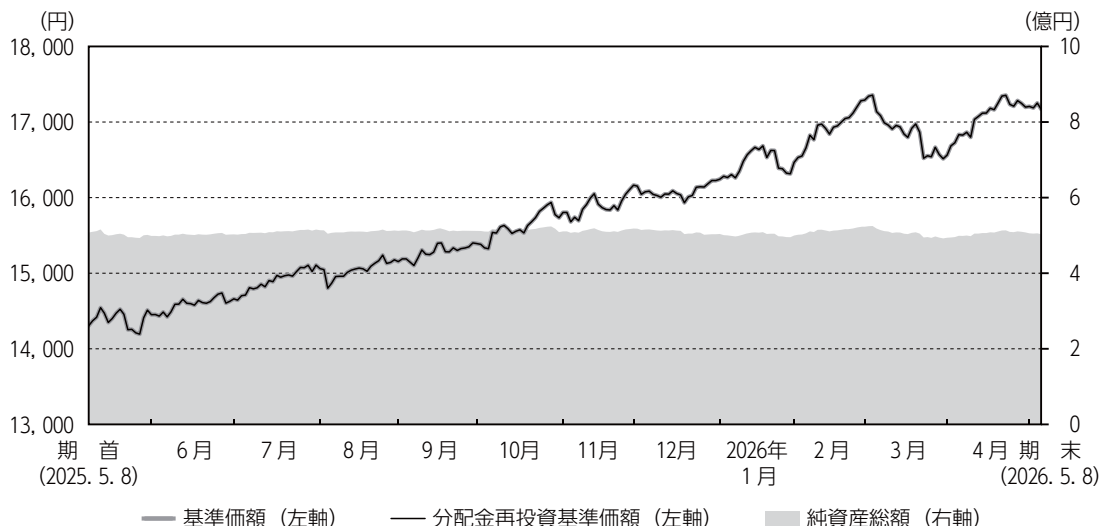
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	不 動 産 投 信 指 数 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率					
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
9 期末（2022年 5 月 9 日）	13,839	0	1.6	52.7	0.1	42.7	0.8	712
10 期末（2023年 5 月 8 日）	12,818	0	△ 7.4	43.4	0.5	53.2	0.7	663
11 期末（2024年 5 月 8 日）	14,168	0	10.5	30.4	1.8	61.7	1.1	585
12 期末（2025年 5 月 8 日）	14,306	0	1.0	41.0	0.4	52.6	1.7	507
13 期末（2026年 5 月 8 日）	17,170	0	20.0	32.9	0.2	62.8	1.1	502

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 4）不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。
（注 5）当ファンドは、各資産クラスへの配分が可変的で適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,306円

期末：17,170円（分配金0円）

騰落率：20.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、各資産クラスに投資した結果、海外の株式市況およびリート市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	不 動 産 投 信 指 数 先 物 比 率
	円	騰 落 率 %				
(期 首) 2025年 5 月 8 日	14,306	—	41.0	0.4	52.6	1.7
5 月 末	14,452	1.0	32.1	0.7	62.0	1.4
6 月 末	14,661	2.5	32.9	0.1	62.1	2.0
7 月 末	15,061	5.3	26.6	0.7	62.4	2.0
8 月 末	15,154	5.9	26.5	1.0	65.9	2.4
9 月 末	15,392	7.6	27.0	0.7	66.3	1.9
10 月 末	15,804	10.5	28.0	0.8	66.2	2.0
11 月 末	16,164	13.0	28.1	0.6	67.2	1.5
12 月 末	16,243	13.5	28.8	0.6	66.6	1.4
2026年 1 月 末	16,466	15.1	27.8	—	68.3	0.9
2 月 末	17,291	20.9	29.4	0.4	63.1	1.2
3 月 末	16,563	15.8	29.4	0.6	51.3	2.0
4 月 末	17,207	20.3	33.2	0.2	62.9	1.1
(期 末) 2026年 5 月 8 日	17,170	20.0	32.9	0.2	62.8	1.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 5. 9 ～ 2026. 5. 8）

■海外債券市況

海外債券市場において、おおむね金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国では、当作成期首より、関税政策をめぐる懸念と各国との交渉進展が綱引きとなり、金利は神経質な動きとなりました。2025年後半にかけては、インフレ率の下振れやF R B（米国連邦準備制度理事会）の高官による発言などを背景に、金利は低下（債券価格は上昇）基調となりました。その後は、F R Bが3会合連続で利下げを実施する中、金利はレンジ内での推移となりました。2026年に入ると、底堅い経済指標を受けた利下げ観測の後退や、日本の財政悪化懸念による長期・超長期金利上昇の影響などが、金利の上昇圧力となりました。2月には、雇用関連指標の軟調さを背景とした経済鈍化への懸念などが、金利の低下圧力となりました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化に伴うインフレ懸念を背景に金利は上昇したものの、その後は米国とイランの協議進展への期待などが金利の低下圧力となり、値動きの荒い展開となりました。こうした米国金利の動きを受け、主要国の金利もおおむね同様な展開となりました。

■海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、米中双方による大幅な関税引き下げや、雇用情勢の悪化に伴うF R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりなどが好感され、上昇しました。2025年7月以降は、米国政府による各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のF R Bによる利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。さらに10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、続伸しました。11月には、米国の政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬にはF R Bによる利下げ観測が再び高まったことが好感され、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善などが好感された一方で、「A I 脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。3月には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しましたが、4月にはA I・半導体関連株の集中物色で急反発し、再び史上最高値を更新して当作成期末を迎えました。

■海外リート市況

海外リート市況は、当作成期を通じて上昇しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる各国の貿易交渉の進展を背景に、上昇基調で推移しました。2025年8月半ばにかけて横ばい圏で推移した後は、9月末にかけて米国長期金利の低下傾向などを追い風に上昇基調となりました。その後2025年12月末にかけては、米国長期金利の動向などに左右される中、おおむね横ばい圏で推移しました。2026年2月にかけては、グリーンランド領有をめぐる米欧間の対立への警戒感が高まり、下落する場面はあったものの、リートが資本集約的な事業構造を有し、相対的にAI（人工知能）による代替リスクが低いことなどが意識され、堅調に推移しました。3月は中東情勢の緊迫化やエネルギー価格の上昇に伴う投資家心理の悪化などから下落しましたが、当作成期末にかけては中東情勢に関する悪材料の出尽くし感などから反発しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化などから上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安となりました。2025年7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調が継続しました。しかし8月初旬には、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まったことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。11月半ばにかけても、経済成長を重視する高市政権の姿勢が日銀の早期利上げ観測の後退につながったほか、大型補正予算による財政悪化への懸念が強まったことで、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月は、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。4月末にかけては、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いが限定的となり、円安基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、日本政府・日銀が円買い／米ドル売り介入を実施したと報じられたことなどを受けて、円高となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

※債券マザーファンド：ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

株式マザーファンド：ワールド好配当株式マザーファンド

リート・マザーファンド：先進国REITマザーファンド

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※当ファンドにおいて、先進国とはF T S E 世界国債インデックス（除く日本）構成国をいい、先進国通貨とはインデックス構成国の通貨をいいます。

■ワールド好配当株式マザーファンド

欧米株ともに、トランプ米国政権による関税の影響がどのタイミングで顕在化し始めるかに、引き続き注意が必要です。米国株は、各国との交渉進展に伴う相互関税上乗せ税率の軽減や減税、ハイテク・金融業種等への規制緩和期待を背景に、一進一退ながら回復基調をたどると想定しています。一方で欧州株は、上乗せ税率をめぐる欧米間の交渉次第と言え、当面は神経質な相場展開となりそうです。

当面の間、E T F（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■先進国REITマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、円ベース）を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。また、運用の効率化を図るため、ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

ポートフォリオについて

（2025. 5. 9 ～ 2026. 5. 8）

■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更しました。証券市場のリスクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めました。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内としました。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等としました。

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ワールド好配当株式マザーファンド

ファンド規模が一定水準に達するまでETF（上場投資信託証券）での運用が合理的であると考え、流動性や配当利回りなどを勘案し、引き続きISHARES INTERNATIONAL SELECT DIVID（ETF）とVANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD INDEX（ETF）を組み入れました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

■先進国REITマザーファンド

海外リートの組入比率（ETF（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を含む）は、当作成期を通じて原則として99%台で運用を行いました。

海外リートポートフォリオにつきましては、S & P 先進国REIT指数（除く日本）採用銘柄の中から流動性の高いリートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きいリートを主としたポートフォリオとなりました。なお、運用の効率化を図るため、ETFおよび不動産投信指数先物取引も利用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年5月9日 ～2026年5月8日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	7,169

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和アセットマネジメントが判断する局面では、債券の組入比率を高めまします。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ワールド好配当株式マザーファンド

A I（人工知能）・半導体関連株が、中東情勢が落ち着いた市場環境において、相場の主役としてけん引していくことが期待される中、米国株式市場の中長期的な上昇基調は維持されるとみています。足元では、A I・半導体分野における高い成長期待を背景に業績予想の引き上げが進んでおり、半導体関連株の予想P E R（株価収益率）など、投資指標面での割安感も強まっています。また欧州株も、中東情勢の緊迫化に伴う原油高を受けた利上げ観測が重しとなる一方で、安定的な利益成長と米国株に対する相対的な割安感を背景に、今後も相場の回復が続くとみえています。

当面の間、E T F（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りははじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■先進国R E I Tマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国R E I

T 指数（除く日本）を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。なお、運用の効率化を図るため、E T F（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 5. 9～2026. 5. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	235円	1. 485%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,794円です。
（投 信 会 社）	(113)	(0. 715)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(113)	(0. 715)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(9)	(0. 055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0. 039	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(1)	(0. 005)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0. 001)	
（投資証券）	(5)	(0. 033)	
有価証券取引税	1	0. 006	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0. 000)	
（投資証券）	(1)	(0. 006)	
そ の 他 費 用	20	0. 124	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(15)	(0. 098)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0. 017)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	261	1. 653	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

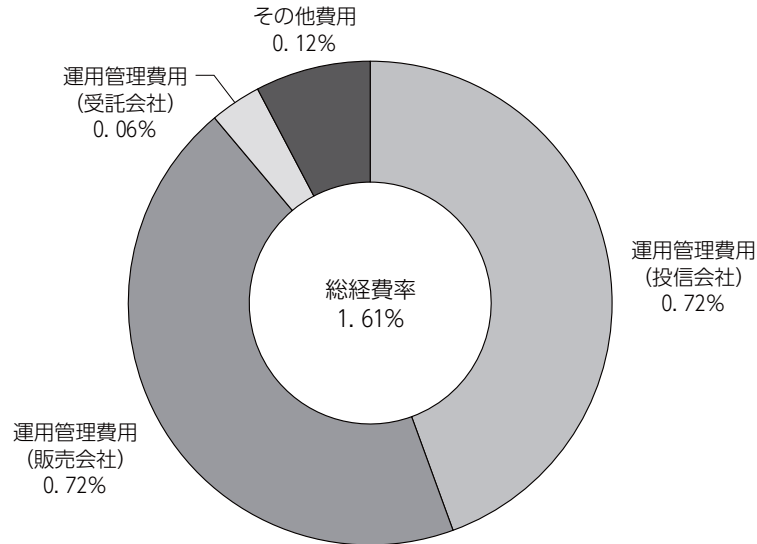
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ外国 3 資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年 5 月 9 日から2026年 5 月 8 日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	14,082	47,606	25,102	91,466
先進国 R E I T マザーファンド	17,639	51,055	21,342	65,319
ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド	75,174	75,457	122,456	122,157

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド好配当株式 マザーファンド	50,776	39,756	160,779
先進国 R E I T マザーファンド	52,658	48,955	162,727
ダイワ先進国債券 (為替ヘッジあり) マザーファンド	222,923	175,641	175,150

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 5 月 8 日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド好配当株式マザーファンド	160,779	31.6
先進国 R E I T マザーファンド	162,727	32.0
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	175,150	34.5
コール・ローン等、その他	9,497	1.9
投資信託財産総額	508,154	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝157.05円、1カナダ・ドル＝114.99円、1オーストラリア・ドル＝113.22円、1香港・ドル＝20.05円、1シンガポール・ドル＝123.73円、1イギリス・ポンド＝212.87円、1スウェーデン・クローネ＝16.92円、1メキシコ・ペソ＝9.085円、1ユーロ＝184.17円です。

(注 3) ワールド好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（160,596千円）の投資信託財産総額（161,319千円）に対する比率は、99.6%です。

先進国 R E I T マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,853,012千円）の投資信託財産総額（1,865,273千円）に対する比率は、99.3%です。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（307,694千円）の投資信託財産総額（314,713千円）に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 5 月 8 日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	508,154,452円
コール・ローン等	8,014,119
ワールド好配当株式マザーファンド（評価額）	160,779,884
先進国 R E I T マザーファンド（評価額）	162,727,324
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド（評価額）	175,150,125
未収入金	1,483,000
(B) 負債	5,166,539
未払解約金	1,448,121
未払信託報酬	3,697,729
その他未払費用	20,689
(C) 純資産総額（A－B）	502,987,913
元本	292,949,170
次期繰越損益金	210,038,743
(D) 受益権総口数	292,949,170口
1万口当り基準価額（C／D）	17,170円

* 期首における元本額は354,834,561円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は61,885,391円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,170円です。

■損益の状況

当期 自2025年 5 月 9 日 至2026年 5 月 8 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35, 762円
受取利息	35, 762
(B) 有価証券売買損益	91, 444, 259
売買益	100, 874, 679
売買損	△ 9, 430, 420
(C) 信託報酬等	△ 7, 591, 763
(D) 当期損益金 (A + B + C)	83, 888, 258
(E) 前期繰越損益金	75, 224, 310
(F) 追加信託差損益金	50, 926, 175
(配当等相当額)	(36, 134, 915)
(売買損益相当額)	(14, 791, 260)
(G) 合計 (D + E + F)	210, 038, 743
次期繰越損益金 (G)	210, 038, 743
追加信託差損益金	50, 926, 175
(配当等相当額)	(36, 134, 915)
(売買損益相当額)	(14, 791, 260)
分配準備積立金	159, 112, 568

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	32, 725円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	83, 855, 533
(c) 収益調整金	50, 926, 175
(d) 分配準備積立金	75, 224, 310
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	210, 038, 743
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	210, 038, 743
(h) 受益権総口数	292, 949, 170口

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注 4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：24, 855円（未監査）

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2026年5月8日）

（作成対象期間 2025年5月9日～2026年5月8日）

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

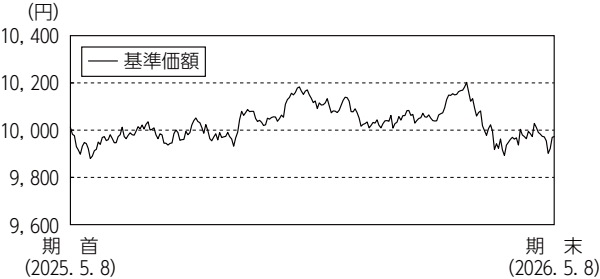
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) (参考指数)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰落率 %	騰落率 %		%	%
(期 首) 2025年 5月 8日	10,011	—	9,969	—	93.3	—
5月末	9,968	△ 0.4	9,914	△ 0.5	93.3	—
6月末	10,004	△ 0.1	9,953	△ 0.2	95.8	—
7月末	9,980	△ 0.3	9,904	△ 0.6	89.1	—
8月末	9,990	△ 0.2	9,928	△ 0.4	89.8	—
9月末	10,050	0.4	9,954	△ 0.2	91.2	—
10月末	10,134	1.2	10,015	0.5	94.1	—
11月末	10,137	1.3	10,025	0.6	95.8	—
12月末	10,062	0.5	9,967	△ 0.0	97.8	—
2026年 1月末	10,064	0.5	9,964	△ 0.0	94.1	—
2月末	10,182	1.7	10,067	1.0	85.8	—
3月末	9,936	△ 0.7	9,858	△ 1.1	73.2	—
4月末	9,901	△ 1.1	9,845	△ 1.2	95.9	—
(期 末) 2026年 5月 8日	9,972	△ 0.4	9,887	△ 0.8	94.5	—

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、F T S E Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は F T S E Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E Fixed Income LLC が有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
- (注 6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,011円 期末：9,972円 騰落率：△0.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資しているか債券からの利息収入はプラス要因となりましたが、債券の価格下落や為替ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 海外債券市況

海外債券市場において、おおむね金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国では、当作成期首より、関税政策をめぐる懸念と各国との交渉進展が綱引きとなり、金利は神経質な動きとなりました。2025年後半にかけては、インフレ率の不振や F R B（米国連邦準備制度理事会）の高官による発言などを背景に、金利は低下（債券価格は上昇）基調となりました。その後は、F R Bが3会合連続で利下げを実施する中、金利はレンジ内での推移となりました。2026年に入ると、底堅い経済指標を受けた利下げ観測の後退や、日本の財政悪化懸念による長期・超長期金利上昇の影響などが、金利の上昇圧力となりました。2月は、雇用関連指標の軟調さを背景とした経済鈍化への懸念などが、金利の低下圧力となりました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化に伴うインフレ懸念を背景に金利は上昇したものの、その後は米国とイランの協議進展への期待などが金利の低下圧力となり、値動きの荒い展開となりました。こうした米国金利の動きなどを受け、主要国の金利もおおむね同様の展開となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。※当ファンドにおいて、先進国とは F T S E 世界国債インデックス（除く日本）構成国をいい、先進国通貨とはインデックス構成国の通貨をいいます。

◆ ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (3)
(その他)	(1)
合 計	4

- (注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
- (注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

■売買および取引の状況
公 社 債

(2025年5月9日から2026年5月8日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル 90	千アメリカ・ドル 209 (—)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,619	千メキシコ・ペソ — (2,500)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 34 (—)
	ユーロ (スペイン)	千ユーロ 110	千ユーロ 177 (—)

		買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ (イタリア)	千ユーロ 63	千ユーロ 235 (—)
	ユーロ (その他)	千ユーロ —	千ユーロ 86 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 174	千ユーロ 447 (—)
		千ユーロ —	千ユーロ 86 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年5月9日から2026年5月8日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
MEXICAN BONOS (メキシコ) 7.5% 2033/5/26	千円 23,993	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 2.8% 2028/12/1	千円 32,604
SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 3.1% 2031/7/30	20,792	SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 1.4% 2028/4/30	16,738
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4.125% 2032/11/15	14,505	PROVINCE OF QUEBEC CANADA (カナダ) 0.25% 2031/5/5	14,126
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 4.4% 2033/5/1	11,957	SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 1.5% 2027/4/30	12,962
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4.25% 2034/11/15	11,729
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4.125% 2032/11/15	9,149
		ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 4.4% 2033/5/1	7,981
		GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 4.75% 2034/7/4	6,335
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2% 2041/11/15	6,221
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3% 2045/11/15	3,664

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 570	千アメリカ・ドル 369	千円 58,051	% 18.5	% —	% 18.3	% 0.2	% —
カナダ	千カナダ・ドル 76	千カナダ・ドル 68	7,928	2.5	—	1.6	0.9	—
イギリス	千イギリス・ポンド 190	千イギリス・ポンド 167	35,568	11.3	—	5.6	5.7	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 1,390	千スウェーデン・クローネ 1,364	23,088	7.4	—	1.5	0.5	5.3
メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,800	千メキシコ・ペソ 2,605	23,670	7.5	—	7.5	—	—
ユーロ （フランス）	千ユーロ 10	千ユーロ 9	1,811	0.6	—	—	—	0.6
ユーロ （ドイツ）	千ユーロ 17	千ユーロ 16	3,126	1.0	—	1.0	—	—
ユーロ （スペイン）	千ユーロ 292	千ユーロ 291	53,764	17.1	—	15.3	—	1.8
ユーロ （イタリア）	千ユーロ 398	千ユーロ 417	76,799	24.5	—	18.0	6.5	—
ユーロ （その他）	千ユーロ 80	千ユーロ 69	12,854	4.1	—	—	4.1	—
ユーロ （小計）	797	805	148,356	47.3	—	34.3	10.6	2.4
合 計	—	—	296,662	94.5	—	69.0	17.8	7.7

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当 期		末					
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	% 3.0000	千アメリカ・ドル 166	千アメリカ・ドル 125	千円 19,671	2045/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	1.8750	340	185	29,081	2051/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.0000	15	10	1,622	2041/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.1250	43	42	6,729	2032/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.5000	3	3	478	2029/05/31
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.2500	3	2	468	2034/11/15
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		570	369	58,051	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	千カナダ・ドル 16	千カナダ・ドル 11	1,277	2051/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.4500	16	13	1,579	2045/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	2.9000	24	23	2,753	2028/06/02

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	3.6500	20	20	2,317	2033/06/15
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		76	68	7,928	
イギリス	United Kingdom Gilt UNITED KINGDOM GILT	国債証券	0.3750	100	キイギリス・ポンド	キイギリス・ポンド	2030/10/22
		国債証券	3.2500	90	84	17,928	2033/01/31
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		190	167	35,568	
スウェーデン	SWEDISH GOVERNMENT BOND SWEDISH GOVERNMENT BOND KOMMUNINVEST	国債証券	0.7500	100	千スウェーデン・クローネ	千スウェーデン・クローネ	2029/11/12
		国債証券	1.7500	300	94	1,605	2033/11/11
		特殊債券	1.0000	990	284	4,808	2026/11/12
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		1,390	985	16,673	
メキシコ	MEXICAN BONOS	国債証券	7.5000	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ		
				2,800	2,605	23,088	
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		2,800	2,605	23,670	2033/05/26
ユーロ(フランス)	FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	千ユーロ	千ユーロ		
				10	9	1,811	2027/05/25
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄		10	9	1,811	
ユーロ(ドイツ)	GERMAN GOVERNMENT BOND GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券 国債証券	4.7500 —	千ユーロ	千ユーロ		
				7 10	8 8	1,547 1,578	2034/07/04 2032/02/15
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄		17	16	3,126	
ユーロ(スペイン)	SPANISH GOVERNMENT BOND SPANISH GOVERNMENT BOND SPANISH GOVERNMENT BOND SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.5000	千ユーロ	千ユーロ		
		国債証券	1.4000	10	9	1,823	2027/04/30
		国債証券	3.1000	22	21	3,959	2028/04/30
		国債証券	3.5000	210	212	39,065	2031/07/30
国小計	銘柄数 金 額	4銘柄		50	48	8,914	2041/01/31
ユーロ(イタリア)	ITALIAN GOVERNMENT BOND ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券 国債証券	2.8000 4.4000	千ユーロ	千ユーロ		
				110 288	110 306	20,302 56,497	2028/12/01 2033/05/01
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄		398	417	76,799	
ユーロ(その他)	PROVINCE OF QUEBEC CANADA	地方債証券	0.2500	千ユーロ	千ユーロ		
				80	69	12,854	2031/05/05
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		80	69	12,854	
通貨小計	銘柄数 金 額	10銘柄		797	805	148,356	
合 計	銘柄数 金 額	26銘柄				296,662	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年5月8日現在		
項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	296,662	94.3
コール・ローン等、その他	18,050	5.7
投資信託財産総額	314,713	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝157.05円、1カナダ・ドル＝114.99円、1イギリス・ポンド＝212.87円、1スウェーデン・クローネ＝16.92円、1メキシコ・ペソ＝9.085円、1ユーロ＝184.17円です。
- (注3) 当期末における外貨建純資産（307,694千円）の投資信託財産総額（314,713千円）に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年5月8日現在		
項 目	当 期 末	
(A)資産		620,587,485円
コール・ローン等		10,028,885
公社債（評価額）		296,662,981
未収入金		310,262,258
未収利息		2,333,001
前払費用		1,300,360
(B)負債		306,815,618
未払金		305,873,618
未払解約金		942,000
(C)純資産総額（A－B）		313,771,867
元本		314,650,269
次期繰越損益金	△	878,402
(D)受益権総口数		314,650,269口
1万口当り基準価額（C／D）		9,972円

- * 期首における元本額は364,113,277円、当作成期間中における追加設定元本額は75,174,965円、同解約元本額は124,637,973円です。
- * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）47,756,281円
- ダイワ外国3資産バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）91,252,065円
- ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）175,641,923円
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は9,972円です。
- * 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は878,402円です。

■損益の状況

当期 自2025年5月9日 至2026年5月8日		
項 目	当 期	
(A)配当等収益		9,242,751円
受取利息		9,242,751
(B)有価証券売買損益	△	10,987,188
売買益		44,554,088
売買損	△	55,541,276
(C)その他費用	△	110,733
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△	1,855,170
(E)前期繰越損益金		403,102
(F)解約差損益金		291,631
(G)追加信託差損益金		282,035
(H)合計（D＋E＋F＋G）	△	878,402
次期繰越損益金（H）	△	878,402

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ワールド好配当株式マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2026年5月8日)

(作成対象期間 2025年5月9日～2026年5月8日)

ワールド好配当株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

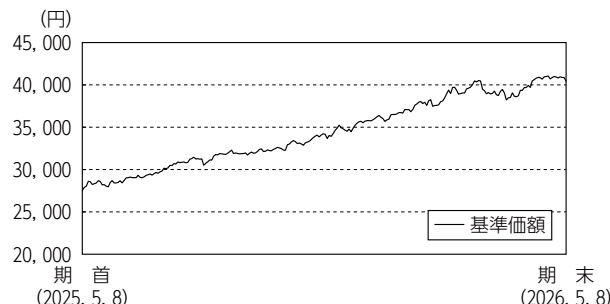
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ） ロ. 海外株式の指数を対象指数とした E T F （上場投資信託証券） ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		投資証券 組入比率
	円	%	騰落率	騰落率	
(期 首) 2025年 5 月 8 日	27,551	—	44,955	—	98.4
5 月末	28,421	3.2	47,143	4.9	98.1
6 月末	29,650	7.6	49,397	9.9	98.0
7 月末	31,229	13.3	52,165	16.0	98.1
8 月末	31,852	15.6	52,541	16.9	99.3
9 月末	32,553	18.2	54,464	21.2	98.1
10 月末	34,228	24.2	57,602	28.1	99.0
11 月末	35,649	29.4	58,520	30.2	98.6
12 月末	36,670	33.1	59,692	32.8	97.0
2026年 1 月末	38,017	38.0	59,601	32.6	99.0
2 月末	40,349	46.5	60,511	34.6	99.6
3 月末	38,711	40.5	56,802	26.4	98.3
4 月末	40,949	48.6	63,260	40.7	99.0
(期 末) 2026年 5 月 8 日	40,441	46.8	63,714	41.7	99.4

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,551円 期末：40,441円 騰落率：46.8%

【基準価額の主な変動要因】

海外のETF（上場投資信託証券）を通じて株式に投資した結果、

海外株式市況が上昇したことや、米ドルが円に上昇（円安）したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、米中双方による大幅な関税引き下げや、雇用情勢の悪化に伴うFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりなどが好感され、上昇しました。2025年7月以降は、米国政府による各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のFRBによる利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。さらに10月下旬にかけては、成長期待が高まったAI（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、続伸しました。11月には、米国の政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬にはFRBによる利下げ観測が再び高まったことが好感され、反発しました。12月以降も、FRBによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善などが好感された一方で、「AI脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。3月には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しましたが、4月にはAI・半導体関連株の集中物色で急反発し、再び史上最高値を更新して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル対円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より方向感のない動きで始まりましたが、2025年7月に入ると、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調となりました。8月から9月にかけてはおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月に入ると、自民党総選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月下旬には、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて円高が進行しましたが、2月には、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。当作成期末にかけては、日本政府・日銀が円買い/米ドル売り介入を実施したと報じられたことなどを受けて、円高となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

欧米株ともに、トランプ米国政権による関税の影響がどのタイミングで顕在化し始めるかに、引き続き注意が必要です。米国株は、各国との交渉進展に伴う相互関税上乗せ税率の軽減や減税、ハイテク・金融業種等への規制緩和期待を背景に、一進一退ながら回復基調をたどると想定しています。一方で欧州株は、上乗せ税率をめぐる欧米間の交渉次第と言え、当面は神経質な相場展開となりそうです。

当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りははじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

ファンド規模が一定水準に達するまでETF（上場投資信託証券）

ワールド好配当株式マザーファンド

での運用が合理的であると考え、流動性や配当利回りなどを勘案し、引き続き ISHARES INTERNATIONAL SELECT DIVID (E T F) と VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD INDEX (E T F) を組み入れました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

A I (人工知能)・半導体関連株が、中東情勢が落ち着いた市場環境において、相場の主役としてけん引していくことが期待される中、米国株式市場の中長期的な上昇基調は維持されるとみています。足元では、A I ・半導体分野における高い成長期待を背景に業績予想の引き上げが進んでおり、半導体関連株の予想P E R (株価収益率) など、投資指標面での割安感も強まっています。また欧州株も、中東情勢の緊迫化に伴う原油高を受けた利上げ観測が重しとなる一方で、安定的な利益成長と米国株に対する相対的な割安感を背景に、今後も相場の回復が続くとみています。

当面の間、E T F (上場投資信託証券)での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

■売買および取引の状況
投資証券

(2025年5月9日から2026年5月8日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD INDEX (ETF)	0.881	122	1.327	194
	ISHARES INTERNATIONAL SELECT DIVID (ETF)	4.51	171	8.18	327

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資証券)	22円 (22)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	39 (34) (5)
合 計	61

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■組入資産明細表

外国投資証券

銘柄		期 首	当 期 末		
		□ 数	□ 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千□	千□	千アメリカ・ドル	千円
VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD INDEX (ETF)		3.048	2.602	403	63,405
ISHARES INTERNATIONAL SELECT DIVID (ETF)		17.605	13.935	613	96,337
合 計	□ 数、 金 額	20.653	16.537	1,017	159,742
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<99.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 5 月 8 日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 159,742	% 99.0
コール・ローン等、その他	1,576	1.0
投資信託財産総額	161,319	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝157.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(160,596千円)の投資信託財産総額(161,319千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年5月8日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	161,919,104円
コール・ローン等	1,576,479
投資証券（評価額）	159,742,625
未収入金	600,000
(B)負債	1,140,581
未払金	599,581
未払解約金	541,000
(C)純資産総額（A－B）	160,778,523
元本	39,756,654
次期繰越損益金	121,021,869
(D)受益権総口数	39,756,654口
1万口当り基準価額（C／D）	40,441円

*期首における元本額は50,776,227円、当作成期間中における追加設定元本額は14,082,855円、同解約元本額は25,102,428円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ外国３資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）
39,756,654円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は40,441円です。

■損益の状況

当期 自2025年5月9日至2026年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	6,696,157円
受取配当金	6,622,431
受取利息	73,726
(B) 有価証券売買損益	58,241,649
売買益	58,251,485
売買損	△ 9,836
(C) その他費用	△ 192,446
(D) 当期損益金 (A + B + C)	64,745,360
(E) 前期繰越損益金	89,116,936
(F) 解約差損益金	△ 66,363,572
(G) 追加信託差損益金	33,523,145
(H) 合計 (D + E + F + G)	121,021,869
次期繰越損益金 (H)	121,021,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

先進国 R E I T マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2026年 5 月 8 日)

(作成対象期間 2025年 5 月 9 日～2026年 5 月 8 日)

先進国 R E I T マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

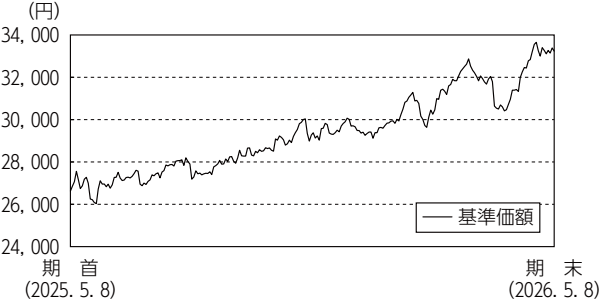
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。） ロ. 先進国のリート指数を対象指数とした E T F （上場投資信託証券） ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、円ベース)		投資信託	投資証券	不動産投信
	円	騰落率	参考指数	騰落率	組入比率	組入比率	指数先物比率
(期首) 2025年 5月 8日	26,622	—	26,121	—	1.6	92.3	6.0
5月末	26,953	1.2	26,677	2.1	2.3	93.4	4.3
6月末	27,001	1.4	26,719	2.3	0.4	93.4	6.2
7月末	28,022	5.3	27,703	6.1	2.2	91.7	6.1
8月末	28,023	5.3	27,954	7.0	3.0	90.0	7.0
9月末	28,634	7.6	28,400	8.7	1.9	92.6	5.4
10月末	29,274	10.0	29,205	11.8	2.3	91.8	5.8
11月末	30,068	12.9	30,064	15.1	1.8	93.8	4.4
12月末	29,926	12.4	29,809	14.1	1.7	94.1	4.1
2026年 1月末	30,111	13.1	29,854	14.3	—	97.4	2.6
2月末	32,511	22.1	32,552	24.6	1.3	94.9	3.7
3月末	30,469	14.5	30,408	16.4	2.2	90.4	7.3
4月末	33,273	25.0	33,245	27.3	0.6	95.9	3.5
(期末) 2026年 5月 8日	33,240	24.9	33,076	26.6	0.6	95.9	3.5

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：26,622円 期末：33,240円 騰落率：24.9%

【基準価額の主な変動要因】

海外 R E I T にほぼ100%投資した結果、海外リート市況が上昇したことから、基準価額も上昇しました。

◆ 投資環境について

○ 海外リート市況

海外リート市況は、当作成期を通じて上昇しました。
海外リート市況は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる各

国の貿易交渉の進展を背景に、上昇基調で推移しました。2025年8月半ばにかけて横ばい圏で推移した後は、9月末にかけて米国長期金利の低下傾向などを追い風に上昇基調となりました。その後2025年12月末にかけては、米国長期金利の動向などに左右される中、おおむね横ばい圏で推移しました。2026年2月にかけては、グリーンランド領有をめぐる米欧間の対立への警戒感が高まり、下落する場面もあったものの、リートが資本集約的な事業構造を有し、相対的にAI (人工知能) による代替リスクが低いことなどが意識され、堅調に推移しました。3月は中東情勢の緊迫化やエネルギー価格の上昇に伴う投資家心理の悪化などから下落しましたが、当作成期末にかけては中東情勢に関する悪材料の出尽くし感などから反発しました。

○ 為替相場

米ドルが為替相場は対円で上昇 (円安) しました。
米ドル対円が為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化などから上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安となりました。2025年7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調が継続しました。しかし8月初旬には、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まったことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩やかな金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。11月半ばにかけても、経済成長を重視する高市政権の姿勢が日銀の早期利上げ観測の後退につながったほか、大型補正予算による財政悪化への懸念が強まったことで、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月は、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。4月末にかけては、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いが限定的となり、円安基調で推移しましたが、当作成期末にかけては、日本政府・日銀が円買い/米ドル売り介入を実施したと報じられたことなどを受けて、円高となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、円ベース) を参考に、先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。また、運用の効率化を図るため、E T F (上場投資信託証券) および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

◆ ポートフォリオについて

海外リートの組入比率 (E T F (上場投資信託証券) および不動産投信指数先物取引を含む) は、当作成期を通じて原則として99%台で運用を行いました。

海外リートポートフォリオにつきましては、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本) 採用銘柄の中から流動性の高いリートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きいリートを主としたポートフォリオとなりました。なお、運用の効率化を図るため、E T F および不動産投信指数先物取引も利用しました。

先進国 R E I T マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本）を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行います。なお、運用の効率化を図るため、E T F（上場投資信託証券）および不動産投信指数先物取引を利用することがあります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託受益証券) (投資証券)	16円 (5) (1) (10)
有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	6 (0) (6)
その他費用 (保管費用) (その他)	57 (47) (9)
合 計	78

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2025 年 5 月 9 日から 2026 年 5 月 8 日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD REAL ESTATE INDEX FUND;ET (ETF)	17.33	1,574	18.92	1,722

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2025 年 5 月 9 日から 2026 年 5 月 8 日まで)

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	AVALONBAY COMMUNITIES REIT INC (REIT)	0.84	158	1.014	205
	SIMON PROPERTY GROUP REIT INC (REIT)	2.064	374	2.491	408
	BXP INC (REIT)	1.492	100	1.81	129
	VORNADO REALTY TRUST REIT (REIT)	2.283	81	2.905	115
	EQUITY RESIDENTIAL REIT (REIT)	2.076	134	2.506	170
	EQUINIX REIT INC (REIT)	0.485	410	0.585	498
	HOST HOTELS & RESORTS REIT INC (REIT)	6.294	110	7.639	123

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	KIMCO REALTY REIT CORP (REIT)	千口 5. 279	千アメリカ・ドル 114	千口 6. 371	千アメリカ・ドル 135
	GAMING AND LEISURE PROPERTIES REIT (REIT)	2. 256	104	2. 738	129
	PARK HOTELS RESORTS INC (REIT)	3. 783	41	4. 852	51
	INVITATION HOMES INC (REIT)	4. 007	116	4. 837	157
	VICI PPTYS INC (REIT)	5. 355	163	6. 464	209
	VENTAS REIT INC (REIT)	2. 803	208	3. 384	219
	IRON MOUNTAIN INC (REIT)	2. 176	216	2. 627	262
	SUN COMMUNITIES REIT INC (REIT)	0. 761	96	0. 923	116
	PROLOGIS REIT INC (REIT)	4. 959	602	5. 985	662
	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES RE (REIT)	0. 642	43	0. 826	62
	CAMDEN PROPERTY TRUST REIT (REIT)	0. 761	82	0. 923	105
	ESSEX PROPERTY TRUST REIT INC (REIT)	0. 439	117	0. 529	150
	WELLTOWER INC (REIT)	2. 62	474	3. 162	494
	HEALTHPEAK PROPERTIES INC (REIT)	3. 963	69	5. 008	89
	MID AMERICA APARTMENT COMMUNITIES (REIT)	0. 822	116	0. 992	147
	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES REIT I (REIT)	1. 331	84	1. 616	100
	NNN REIT INC (REIT)	2. 177	92	2. 642	112
	REALTY INCOME REIT CORP (REIT)	4. 429	264	5. 346	307
	PUBLIC STORAGE REIT (REIT)	0. 777	224	0. 937	278
	UDR REIT INC (REIT)	2. 335	88	2. 834	115
	W. P. CAREY REIT INC (REIT)	1. 456	97	1. 767	112
	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS REIT IN (REIT)	2. 944	125	3. 554	133

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	DIGITAL REALTY TRUST REIT INC (REIT)	千口 1. 493	千アメリカ・ドル 256	千口 1. 802	千アメリカ・ドル 316
	EXTRA SPACE STORAGE REIT INC (REIT)	0. 863	122	1. 042	156
	GLADSTONE COMMERCIAL REIT CORP (REIT)	3. 576	44	4. 624	65
	MEDICAL PROPERTIES TRUST REIT INC (REIT)	4. 481	23	5. 934	26
	DOUGLAS EMMETT REIT INC (REIT)	3. 129	41	4. 026	60
	カナダ	千口	千カナダ・ドル	千口	千カナダ・ドル
	CHOICE PROPERTIES REAL ESTATE INVE	19. 5	293	25. 6	377
	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
	DEXUS STAPLED UNITS	16. 17	111	20. 89	145
	SCENTRE GROUP UNIT (REIT)	43. 7	166	56. 42	210
	MIRVAC GROUP STAPLED UNITS	37. 34	79	48. 22	110
	GOODMAN GROUP UNITS	10. 64	330	13. 75	470
	香港	千口	千香港・ドル	千口	千香港・ドル
	LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	6. 3	244	9. 6	402
	シンガポール	千口	千シンガポール・ドル	千口	千シンガポール・ドル
	CAPITALAND ASCENDAS REIT	—	—	—	—
	CAPITALAND ASCENDAS REIT	41. 9	112	54. 9	145
	CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL T	72. 6	(△ 1) 164	94. 5	203
			(△ 0)		
	イギリス	千口	千イギリス・ポンド	千口	千イギリス・ポンド
	LAND SECURITIES GROUP REIT PLC (REIT)	9. 26	56	12. 92	80
	SEGRO REIT PLC (REIT)	9. 46	66	13. 19	91
	TRITAX BIG BOX REIT PLC (REIT)	35. 07	53	48. 93	72
	ユーロ (ベルギー)	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
	COFINIMMO REIT SA (REIT)	0. 33	26	0. 47	36

銘 柄		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	ユーロ (フランス)	千□	千ユーロ	千□	千ユーロ
	GECINA SA (REIT)	1.1	96	1.52	139

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の種類別取引状況

(2025年 5 月 9 日から2026年 5 月 8 日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国		百万円	百万円	百万円	百万円
	不動産投信指数 先物取引	1,182	1,240	—	—

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国投資信託受益証券

銘 柄		期 首	当 期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額
				外貨建金額 邦貨換算金額
(アメリカ)		千□	千□	千アメリカ・ドル 千円
VANGUARD REAL ESTATE INDEX FUND;ET (ETF)		2.3	0.71	68 10,748
合 計	□ 数、金 額	2.3	0.71	68 10,748
	銘柄数 <比率>	1銘柄	1銘柄	<0.6%>

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資証券

銘 柄		期 首	当 期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額
				外貨建金額 邦貨換算金額
(アメリカ)		千□	千□	千アメリカ・ドル 千円
AVALONBAY COMMUNITIES REIT INC (REIT)		1.45	1.276	237 37,231
SIMON PROPERTY GROUP REIT INC (REIT)		3.561	3.134	631 99,128
BXP INC (REIT)		2.655	2.337	138 21,823
VORNADO REALTY TRUST REIT (REIT)		4.262	3.64	116 18,316
EQUITY RESIDENTIAL REIT (REIT)		3.585	3.155	207 32,633
EQUINIX REIT INC (REIT)		0.835	0.735	784 123,137
HOST HOTELS & RESORTS REIT INC (REIT)		11.212	9.867	213 33,580
KIMCO REALTY REIT CORP (REIT)		9.108	8.016	188 29,622
GAMING AND LEISURE PROPERTIES REIT (REIT)		4.018	3.536	169 26,614
PARK HOTELS RESORTS INC (REIT)		7.327	6.258	70 10,997
INVITATION HOMES INC (REIT)		6.918	6.088	176 27,698
VICI PPTYS INC (REIT)		9.242	8.133	234 36,773
ORION PROPERTIES INC		0.419	0.419	1 186
VENTAS REIT INC (REIT)		4.838	4.257	368 57,864
IRON MOUNTAIN INC (REIT)		3.758	3.307	419 65,860
SUN COMMUNITIES REIT INC (REIT)		1.355	1.193	150 23,620
PROLOGIS REIT INC (REIT)		8.556	7.53	1,071 168,270
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES RE (REIT)		1.261	1.077	49 7,709
CAMDEN PROPERTY TRUST REIT (REIT)		1.355	1.193	124 19,498
ESSEX PROPERTY TRUST REIT INC (REIT)		0.756	0.666	178 27,965

先進国 R E I T マザーファンド

銘柄	期首	当期末		
		□数	□数	評価額
		千口	千口	千円
WELLTOWER INC (REIT)	4.522	3.98	847	133,106
HEALTHPEAK PROPERTIES INC (REIT)	7.162	6.117	120	18,886
MID AMERICA APARTMENT COMMUNITIES (REIT)	1.418	1.248	162	25,550
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES REIT I (REIT)	2.372	2.087	132	20,744
NNN REIT INC (REIT)	3.876	3.411	151	23,843
REALTY INCOME REIT CORP (REIT)	7.644	6.727	415	65,279
PUBLIC STORAGE REIT (REIT)	1.339	1.179	364	57,276
UDR REIT INC (REIT)	4.16	3.661	135	21,233
W. P. CAREY REIT INC (REIT)	2.592	2.281	168	26,473
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS REIT IN (REIT)	5.082	4.472	206	32,398
DIGITAL REALTY TRUST REIT INC (REIT)	2.576	2.267	441	69,347
EXTRA SPACE STORAGE REIT INC (REIT)	1.489	1.31	187	29,475
GLADSTONE COMMERCIAL REIT CORP (REIT)	7.178	6.13	77	12,245
MEDICAL PROPERTIES TRUST REIT INC (REIT)	9.959	8.506	45	7,120
DOUGLAS EMMETT REIT INC (REIT)	6.146	5.249	63	9,916
アメリカ・ドル	□数、金額	153.986	134.442	9,050
通貨計	銘柄数<比率>	35銘柄	35銘柄	<76.2%>
(カナダ)		千口	千口	千カナダ・ドル
CHOICE PROPERTIES REAL ESTATE INVE	39.449	33.349	517	59,477
カナダ・ドル	□数、金額	39.449	33.349	517
通貨計	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<3.2%>
(オーストラリア)		千口	千口	千オーストラリア・ドル
DEXUS STAPLED UNITS	34.567	29.847	185	21,052
SCENTRE GROUP UNIT (REIT)	93.381	80.661	306	34,703
MIRVAC GROUP STAPLED UNITS	79.816	68.936	119	13,580
GOODMAN GROUP UNITS	22.771	19.661	606	68,672
オーストラリア・ドル	□数、金額	230.535	199.105	1,218
通貨計	銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄	<7.4%>
(香港)		千口	千口	千香港・ドル
LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	16.656	13.356	547	10,979
香港・ドル	□数、金額	16.656	13.356	547
通貨計	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<0.6%>
(シンガポール)		千口	千口	千シンガポール・ドル
CAPITALAND ASCENDAS REIT	90.929	77.929	194	24,008
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL T	156.288	134.388	314	38,909
シンガポール・ドル	□数、金額	247.217	212.317	508
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<3.4%>
(イギリス)		千口	千口	千イギリス・ポンド
LAND SECURITIES GROUP REIT PLC (REIT)	19.524	15.864	92	19,772

銘柄	期首	当期末		
		□数	□数	評価額
		千口	千口	千円
SEGRO REIT PLC (REIT)	19.93	16.2	114	24,429
TRITAX BIG BOX REIT PLC (REIT)	73.927	60.067	91	19,499
イギリス・ポンド	□数、金額	113.381	92.131	299
通貨計	銘柄数<比率>	3銘柄	3銘柄	<3.4%>
ユーロ (ベルギー)		千口	千口	千ユーロ
COFINIMMO REIT SA (REIT)	0.715	0.575	48	8,916
国小計	□数、金額	0.715	0.575	48
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<0.5%>
ユーロ (フランス)		千口	千口	千ユーロ
GECINA SA (REIT)	2.042	1.622	119	22,060
国小計	□数、金額	2.042	1.622	119
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<1.2%>
ユーロ	□数、金額	2.757	2.197	168
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<1.7%>
合計	□数、金額	803.981	686.897	—
	銘柄数<比率>	48銘柄	48銘柄	<95.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
	百万円	百万円
外国		
DJ US REAL ESTATE (アメリカ)	48	—
STOXX 600 REAL (ドイツ)	16	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 5 月 8 日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	10,748	0.6
投資証券	1,787,493	95.8
コール・ローン等、その他	67,031	3.6
投資信託財産総額	1,865,273	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5 月 8 日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝157.05円、1 カナダ・ドル＝114.99円、1 オーストラリア・ドル＝113.22円、1 香港・ドル＝20.05円、1 シンガポール・ドル＝123.73円、1 イギリス・ポンド＝212.87円、1 ユーロ＝184.17円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (1,853,012 千円) の投資信託財産総額 (1,865,273 千円) に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 5 月 8 日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,877,984,395円
コール・ローン等	36,558,056
投資信託受益証券 (評価額)	10,748,015
投資証券 (評価額)	1,787,493,723
未収入金	15,848,086
未取配当金	2,338,423
差入委託証拠金	24,998,092
(B) 負債	13,549,970
未払金	13,149,970
未払解約金	400,000
(C) 純資産総額 (A－B)	1,864,434,425
元本	560,901,208
次期繰越損益金	1,303,533,217
(D) 受益権総口数	560,901,208口
1 万口当り基準価額 (C／D)	33,240円

* 期首における元本額は691,576,823円、当作成期間中における追加設定元本額は434,508,703円、同解約元本額は565,184,318円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ダイナミック・アロケーション・ファンド (適格機関投資家専用) 104,163,512円
先進国 R E I T ファンド (適格機関投資家専用) 378,098,652円
ターゲット・リターン (コスト控除後 3%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用) 2,670円
ターゲット・リターン (コスト控除後 5%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用) 8,721円
DCダイナミック・アロケーション・ファンド 29,672,381円
ダイワ外国 3 資産アロケーション・ファンド (部分為替ヘッジあり) 48,955,272円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は33,240円です。

■損益の状況

当期 自2025年 5 月 9 日 至2026年 5 月 8 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	56,811,523円
受取配当金	54,539,753
受取利息	864,368
その他収益金	1,407,402
(B) 有価証券売買損益	284,505,284
売買益	346,310,351
売買損	△ 61,805,067
(C) 先物取引等損益	3,783,425
取引益	12,495,735
取引損	△ 8,712,310
(D) その他費用	△ 2,817,199
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	342,283,033
(F) 前期繰越損益金	1,149,544,411
(G) 解約差損益金	△ 1,034,702,624
(H) 追加信託差損益金	846,408,397
(I) 合計 (E + F + G + H)	1,303,533,217
次期繰越損益金 (I)	1,303,533,217

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本) (「当インデックス」) は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および C D X[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。